

2023年度厚生労働省医政局委託事業  
「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」

連携型BCP/地域BCP策定モデル地域  
沖縄県糸満市における取組み

城間定治：社会福祉法人以和貴会障害者支援施設ソフィア 施設長  
新屋洋平：医療法人以和貴会西崎病院 総合診療科

# 糸満市の状況

人口：62,380人(令和5年8月末：糸満市住民基本台帳)

## 地域の特徴

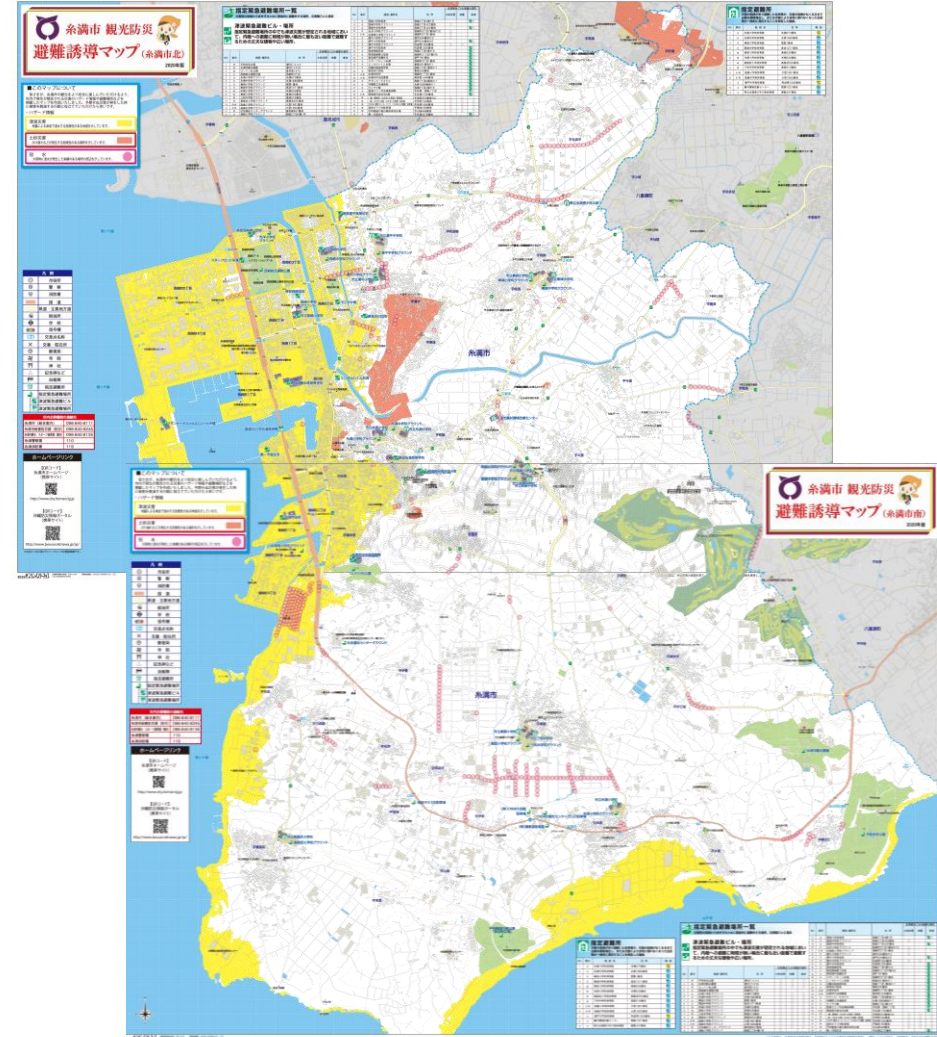
- ・ 沖縄本島の南部に位置し、沖縄戦の激戦地であった
- ・ 戦後、一家全滅等の悲劇により人口が減少した近隣の自治体(糸満・兼城・高嶺・三和)が統合された
- ・ 漁業(海人：ウミンチュ)を中心とした地区、農業を中心とした地区、埋立地を中心とした新規移住者や観光・工業を中心とした地区に分かれる

## 災害等の歴史

- ・ 毎年台風が襲来し、道路や住宅の冠水、停電および建築物や農作物が被害を受ける
- ・ 在宅酸素や人工呼吸器等の電源を必要とする患者は、『災害避難入院』を余儀なくされ、またリスクを受け入れ自宅療養を継続している

## 在宅医療・ケア資源と病院等との連携

- ・ 市内の内科系総合病院は当院のみ
- ・ 訪問診療提供医療機関は存在するものの、地域のニーズを満たすには不十分
- ・ 障害児等の小児在宅を提供する医療機関は市内に存在しない



# わが地域の課題

## これまでの被災経験・コロナ対応

- 大規模災害を経験しておらず、各事業所単位での対応にとどまる
- コロナ対応において、糸満市内で病床を持ちながら在宅医療を提供している医療機関として、地域内の自宅療養している高齢者のコロナ陽性者、高齢者施設等の療養者に対し往診対応を行ってきた
- 市内にコロナ対応を行っている在宅医療提供医療機関は少なかった

## 連携型BCP・地域BCPとして考えるようになった理由

- 『新型コロナウイルス感染症の流行下における災害状態』とも言うべき状況を経験するなかで、災害時等における在宅医療の提供について市内の関係機関との連携が重要であると考えた

## わが地域のBCP観点からの課題

- 住民に対する在宅医療の一部、特に小児在宅医療の提供は市外の医療機関
- 訪問診療・往診を提供できる医療機関の不足

# 今年度の取り組み(1)

## 目的(何を指すのか)

- **法人内多事業所間の連携型BCP策定**
- **在宅医療提供医療機関の連携型BCP策定**
- **地域BCPに関する自治体・関連団体への情報提供**

## 実際にどのようなことにチャレンジするのか

- 法人内各事業所ごとにBCPの作成、ブラッシュアップ
  - このなかに、他事業からの支援受け入れについて明記する
- 多事業所による連携会議を開催し、連携について打ち合わせ
- 連携型BCP策定会議に、糸満市担当者の参加を呼びかける
- 連携型BCPをもとにした他施設シミュレーションの開催(次年度以降?)

## 今年度の取り組み(2)

### 必要な支援

- 施設内BCP策定の支援(情報提供、アドバイス等)
- 法人内外の関係者が理解を深めるための支援(講演等)
- 他地域の先進的な取り組みについて情報共有(今回?)

### 今後の具体的なスケジュール

- ① 各事業所担当者、管理者は情報共有ツールに参加:MCS使用
- ② 各事業所でBCP策定 (9月中)
- ③ 事業所間連携についてBCPの内容を調整していく(10/10~次回会議)  
ここまでの内容を厚生労働省事業にヒアリングで報告(10月中)
- ④ 各事業所ごとにBCPブラッシュアップ ↔ 連携会議で調整  
どこかで糸満市担当者の参加を呼びかけ
- ⑤ 最終ヒアリング(2024年2月)



# 今年度の取り組み(3)

## 7月1日以降の進捗

- 08/18 以和貴会多事業所BCP策定キックオフ会議



# 今年度の取り組み(3)

## 7月1日以降の進捗

- 法人内各事業所のBCP策定会議
  - 09/14 障害者支援施設ソフィアBCP策定会議
  - 09/22 西崎病院院内部門別BCP策定キックオフ会議





# 今年度の取り組み(3)

## 7月1日以降の進捗

- 09/25 糸満市内在宅医療提供医療機関会議

